

令和7～10年度使用石川県立金沢錦丘中学校教科書採択結果一覧

県立金沢錦丘中学校の教科書採択にあたっては、令和7年度使用教科書の採択方針を踏まえるとともに、中高一貫教育校として、高等学校との円滑な接続などを考慮した。

各種目の採択した教科書の発行者及び採択の主な理由は以下のとおりである。

教科	国語	種目	国語
----	----	----	----

発行者	採択の主な理由
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得の工夫においては、「言の葉ポケット」で、場面に応じた話型や文型、教材に関連した言葉に着目して思考を促す設問が示されている。また、「語彙ブック」では、描写や思考に関する語彙が具体的な用例やイラストとともに整理されており、語彙を増やし、表現を豊かにすることができるように配慮されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「学びのカギ」で、全ての領域において思考する際の学習のポイントが図解とともに説明されており、これらを手掛かりに自分の考えを論理的に整理し、深めることができるように配慮されている。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、単元の目標に資質・能力が焦点化して示されていることで、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。また、振り返りが問いに答える形で設定されており、自らの学びを言語化することで学びの自覚につなげることができ、自律的に学び続けることができるように配慮されている。

教科	国語	種目	書写
----	----	----	----

発行者	採択の主な理由
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、探究活動につながるように、各単元で「目標」の次に「試し書き」の欄が設けられており、自身の書いた文字から課題を見いだした上で学習のポイントについて課題意識をもって学習に取り組めるように配慮されている。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、「学習の進め方」の学習の手順の中で「話し合い活動をとおした学び」が示され、話し合いのポイントや学習用語等が明示されているため、見通しをもって主体的に粘り強く学習に取り組む生徒の育成が期待できる。 ・伝統と文化を尊重する態度を養う工夫においては、「コラム」で、歴史上の人物が書いた文字、書の道具や文字の変遷、日本の伝統文化の中の書等が取り上げられており、文字文化に対する興味・関心を高め、自律的に学び続けることができるように配慮されている。

教科	社会	種目	社会（地理的分野）
----	----	----	-----------

発行者	採択の主な理由
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「地理を学ぶ5つのミカタ」で、庄内平野を例に、地理的な見方・考え方を働かせた資料の読み取り方が示され、多面的・多角的に考察する力が身に付くように配慮されているとともに、「みんなでチャレンジ」で、課題解決に向けた対話的な活動を通して思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されていることから、自分の考えを豊かに表現できる生徒の育成が期待できる。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、「まとめの活動」で、考察するヒントや思考ツールを提示することで、探究課題を解決できるように配慮されており、自律的に学ぶ生徒の育成が期待できる。 ・現代的な諸課題への対応においては、「未来にアクセス」で、持続可能な社会の実現に向けて理解が深まるように、環境や防災、共生をテーマとしたコラムが掲載されたり、「地球的課題をふり返ろう」で、節を通して学ぶ地球的課題について、資料を基に説明する活動が設けられたりしており、現代的な諸課題への意識を高め、学びを深めることができるように配慮されている

教科	社会	種目	社会（歴史的分野）
----	----	----	-----------

発行者	採択の主な理由
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「STEP②」、「JUMP!」で、歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を捉える活動が段階的に設けられたり、「THINK!」で、資料の読み取りを基に、歴史的事象の原因を考える活動が設けられたりしており、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を身に付けることができるように配慮されていることから、自分の考えを豊かに表現できる生徒の育成が期待できる。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、中世以降の章の扉で、学習内容に関わる資料を基に、前の時代との変化に着目して、社会の変化を読み取ったり、時代の特色を予想したりする活動が設けられ、学習の見通しをもって自主的に学習することができるように配慮されていることから、生徒の主体的な学習を促し、自律的に学び続ける生徒の育成が期待できる。 ・系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、「TRY!」で、学習内容に関連した発展的な課題が示され、歴史的事象について考察し、表現する活動に取り組むことができるように配慮されている。

教科	社会	種目	社会（公民的分野）
----	----	----	-----------

発行者	採択の主な理由
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「STEP!」で、現代社会の見方・考え方を基に、章の問いについて考察する活動が設けられたり、「公民の技」で、資料から読み取ったことを基に、個人や集団で課題解決を図る活動が設けられたりしており、社会的事象を考察し、表現する力を育むことができるように配慮されていることから、自分の考えを豊かに表現できる生徒の育成が期待できる。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、「ウォーミングアップ! 公民」で、身近な課題を通して、単元を貫く課題を捉える活動が設けられ、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されており、また、「JUMP!」で、現代社会の課題を基に、未来のためにできることについて考える活動が設けられ、社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を育むことができるように配慮されていることから、生徒の主体的な学習を促し、自律的に学び続ける生徒の育成が期待できる。 ・現代的な諸課題への対応においては、「持続可能な社会に向けて」で、現代的な諸課題をテーマに、話し合いや表現活動などが設けられ、持続可能な社会の実現に向けた意識を高めることができるように配慮されている。

教科	社会	種目	地図
----	----	----	----

発行者	採択の主な理由
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得の工夫においては、「この地図の使い方（1）」で、地図を活用する際のポイントが示されていたり、日本の地方別資料の農業、工業・交通の項目で、主題図とともに統計資料が掲載され、各地域の農業や工業の様子が理解しやすいように配慮されたりしており、基礎的・基本的な知識や技能の定着が期待できる。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、世界の各州の鳥瞰図では、代表的な建造物や民族衣装などの様々なイラストが掲載され、興味をもって学習することができるように配慮されている。また、「地図で発見!」で、地理的な見方・考え方を働かせて自ら調べたり考えたりする問いが設けられ、生徒の主体的な学習を促し、自律的に学び続ける生徒の育成が期待できる。 ・生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱いにおいては、主題図が同じ縮尺で掲載され、複数の資料を比較したり、関連付けたりすることができるように配慮されている。

教科	数学	種目	数学
----	----	----	----

発行者	採択の主な理由
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「説明しよう」、「話し合おう」、「まとめよう」が設けられており、自分の考えを整理して分かりやすく伝えたり、他者の考えを自分の考えと比較して考えたりすることを通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、巻末「学びを生かそう」で、学んだ数学を身の回りの事象や社会課題の解決に活用する問題に取り組んだり、例を参考にレポートにまとめたりする活動が設定されており、生徒が興味・関心をもって、主体的に粘り強く学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、当該学年の学習内容を超えた題材には「発展」マークが付されており、特に3年巻末「学びをいかそう」では、高校の範囲の問題に取り組む場面が多く設定されており、中学校の学びと高等学校の学びのつながりを意識できるように工夫されている。

教科	理科	種目	理科
----	----	----	----

発行者	採択の主な理由
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「Action 活用してみよう」で、学習した知識を活用する場面が多く設定されており、これらの探究活動を通して、新たな課題について理科の見方・考え方を働かせながら、思考・判断したり、表現したりする力の向上が期待できる。また、「わたしのレポート」で、まとめる際のポイントが示されており、実験をして分かった事実と自分の考えを分けて表現できるように配慮されている。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、各章の導入で、具体的な事例を基にした問いが写真とともに示されており、興味・関心を引き出し、課題意識を高めて章全体の学習につなげるように構成されているため、自律的に学び続ける生徒の育成につながることを期待できる。 ・系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、「部活ラボ」、「お仕事ラボ」、「お料理ラボ」で、職業や科学技術、食材等のコラムが示されており、理科の学習と日常生活や社会との関連について実感できるように工夫されている。

教科	音楽	種目	音楽（一般）
----	----	----	--------

発行者	採択の主な理由
教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、各題材で、学習目標とともに音楽を形づくっている要素や、思考を促す問いが示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら音楽を捉え、より豊かに表現することができるように配慮されている。また、「学びのコンパス」では、音楽の特徴や曲の構成を捉える学習の手順が示され、段階を踏んで学習を深めることができるように配慮されている。 ・現代的な諸課題への対応や各教科等との関連においては、「生活や社会の中の音や音楽」で、音楽に関わる仕事とSDGsとの関連が紹介され、生徒が生活や社会の中で音や音楽が果たす役割に気づき、自らのキャリアを意識することができるように配慮されている。 ・系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、歌唱分野及び鑑賞領域の教材で、既習の内容を活用した発展的な学習課題が設定され、音楽表現を創意工夫することができるように配慮されている。

教科	音楽	種目	音楽（器楽合奏）
----	----	----	----------

発行者	採択の主な理由
教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得の工夫においては、リコーダーのサミングやアーティキュレーションなど、奏法に関する説明が分かりやすく記載され、曲想を感じ取り、それぞれの音にふさわしいアーティキュレーションを工夫して演奏することができるように配慮されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、各題材で、学習目標とともに音楽を形づくっている要素や、思考を促す問いが示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら音楽を捉え、より豊かに表現することができるように配慮されている。また、「学びのコンパス」では、音楽を形づくっている要素が示され、表現の仕方を工夫することができるように配慮されている。 ・系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、多彩なジャンルのアンサンブルの音楽が取り上げられ、習得した知識や技能を生かして発展的な学習をすることができるように配慮されている。

教科	美術	種目	美術
----	----	----	----

発行者	採択の主な理由
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「鑑賞の入口」で、題材で作品を鑑賞する際の主発問を示すことで、造形的な見方・考え方を働かせながら、鑑賞で学び取ったことを発想や構想に生かすことができ、豊かな心を培うことが期待できる。また、「表現のヒント」では、アイデアスケッチや制作過程などの写真が示されており、思考の手掛かりになるように配慮されている。 ・ 自主的、自発的な学習を促す工夫においては、全題材の主題文で、学習の主旨が示されており、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。また、多方面で活躍する著名人の言葉を紹介することで、自らのキャリアを常に意識し、美術の学びを将来に生かしていくことができるように配慮されている。 ・ 系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、3分冊構成にすることで、発達の段階に応じたねらいや内容の題材が明確に示されており、系統的・発展的に学習できるように配慮されている。

教科	保健体育	種目	保健体育
----	------	----	------

発行者	採択の主な理由
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識や技能の習得の工夫においては、「巻末スキルブック」で、命や健康を守るために必要なスキルについて、イラストや写真で分かりやすくまとめられ、実習する上でのポイントが振り返りに示されており、基礎的・基本的な知識や技能の習得につながるように配慮されている。 ・ 思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「？」マークが付された箇所では、資料を基にした発問が設定されており、考えたり話し合ったりする過程を通して、思考力・判断力・表現力等を高めることができるように配慮されている。また、「活用する」で、習得した知識や技能を活用してより深く考えたり、自分の言葉で説明したりする活動が設定されており、思考を深めることができるように配慮されている。 ・ 自主的、自発的な学習を促す工夫においては、「広げる」で、学習したことを自他の生活に当てはめて考えたり、関連する内容を更に調べたりする学習活動が設定されており、日常生活との関連が実感できるように配慮され、主体的に粘り強く学習に取り組むことが期待できる。

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（技術分野）
----	-------	----	-------------

発行者	採択の主な理由
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、「身の回りの技術に気づこう」、「製品を見てみよう」で、最適化についての視点と具体例が示され、また、技術の仕組みを考えるためのワークシートでは、既存の技術に込められた工夫を読み解く活動が示されており、技術の見方・考え方を働かせながら探究活動に取り組むことができるように配慮されている。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、「問題解決の流れ」に、イラストや吹き出しとともに学習過程が示され、また、全ての実習例にも「問題解決の流れ」の具体例が示されており、それらを参考にしながら自ら課題を設定し問題の解決に取り組むことができるように配慮されているため、自律的に学び続ける生徒の育成につながることを期待できる。 ・系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、「interview」や「開発の現場から」で、技術分野の仕事に携わる人物が紹介されており、職業への理解を通して、職業観や勤労観を育むことができるように配慮されている。

教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（家庭分野）
----	-------	----	-------------

発行者	採択の主な理由
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得の工夫においては、「いつも確かめよう」で、衣生活や食生活に関する基礎的・基本的な知識や技能についてまとめられており、必要に応じて確認することができるように配慮されている。 ・思考力・判断力・表現力を育む工夫においては、生活の中から課題を見つけて解決する家庭分野の問題解決的な学習過程が巻頭で示され、さらに「レッツスタート」で、思考を促す問いや思考ツールの活用例が示されており、視点を明確にして考えを広げたり、深めたりできるように配慮されているため、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら探究活動に取り組むことが期待できる。 ・自主的、自発的な学習を促す工夫においては、節ごとに「学習課題」が設定されており、課題解決に向けて主体的に学習を進めることができる。また、各編の「生活に生かそう」では、できるようになるまで取り組んだことや生活に生かしたいこと等について自らの学びを振り返り、次への新たな課題をもって、実践することができるように配慮されているため、自律的に学び続ける生徒の育成につながることを期待できる。

教科	外国語	種目	英語
----	-----	----	----

発行者	採択の主な理由
東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得の工夫においては、学習した文法事項などを用いて表現する活動を繰り返し行うことで、基礎的・基本的な知識や技能を習得することができるように配慮されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育む工夫においては、各学年の「Unit Activity」、「Stage Activity」で、目的や場面、状況に応じて自己表現する活動が設定され、各Partの「Activity」で学習したことを活用できるように配慮されている。また、各Unitの「Read and Think」では、概要を捉える活動やその内容について自分の意見を表現する活動が設定されており、生徒の実践的な場面での表現力を高めることができるように配慮されている。 ・系統的・発展的な内容等の構成・配列においては、1年のUnit 1～4において、小学校での学習内容を復習する活動が設定され、3年では様々な種類の文章や発展的な読み物が設定されており、小学校や高等学校の学びとの円滑な接続ができるように配慮されている。

教科	特別の教科 道徳	種目	道徳
----	----------	----	----

発行者	採択の主な理由
光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習の充実を図る工夫においては、内容項目「友情、信頼」を扱う教材の後に適宜設けられている「問いを立てよう」で、自分で問いを立てて考える学習の流れが具体的に示されており、複数の視点から道徳的価値についての考えを深めることができるように配慮されている。 ・主体的な学びにつながる工夫においては、巻末の「まなびの記録」に、年度はじめに前学年を振り返った上で今年度の目標を設定したり、年度末に1年間の学びを記入したりできる欄が設けられており、自らの成長を実感することができるように配慮されている。 ・多様な題材の充実においては、ユニット「共に生きるために大切なこととは？」で、国籍や人種、年齢や性別等に関する教材が配置されており、人権に関わる現代的な課題について考えることを通して、道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。